

新任医師のご紹介

# 生活習慣病研究の 経験を生かして

原土井病院 内科 久保 充明 みちあき



皆さん、はじめまして。  
令和3年4月から原土井病院に勤務することになりました医師の久保充明です。現在、月曜日から金曜日まで毎日（週5日、午前中）、一般内科の外来診療を担当しています。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、昭和63年に九州大学医学部を卒業後、第二内科腎臓研究室に所属しました。その後、松山赤十字病院腎センター（愛媛県）や九州大学病院等で、腎炎から腎不全、透析、腎移植に至るまでさまざまな腎臓病の患者さんの診療に従事しました。

平成7年からは、第二内科が昭和36年から行っている久山町研究室に所属し、腎臓病や心血管病の疫学研究を行ってきました。これは福岡県糟屋郡久山町の地域住民の健康調査や追跡調査等を行って、生活習慣病などの危険因子などを調べる疫学研究ですが、私は、ここで剖検例約1000例の腎臓の動脈硬化を調べ、腎臓の血管の動脈硬化には年齢、高血圧、糖尿病、脂質異常などが影響することを発見しました。

は数百を超える遺伝子が関与していること、病気になるかどうかは体質だけでなく環境や生活習慣等も関係していることなどを明らかにしてきました。

平成30年にこの大きな研究プロジェクトが一段落したことを契機に、患者さんと向き合う臨床医に戻ることを選び、理化学研究所在職中からお世話になっていた川崎幸クリニック（神奈川県川崎市）の常勤医師として一般内科の外来診療を担当しました。そこでは、高血圧、糖尿病、高脂血症等の生活習慣病だけでなく、あらゆる病気の患者さんを診る機会を得て、多くの事を患者さんから学ばせていただきました。しかし、長年住み慣れた博多の地に戻りたいという思いが消えず、ようやく今年4月に原土井病院に受け入れていただくこととなった次第です。今後は、これまでの経験を活かし、いろいろな病気の患者さんのお役に立てるよう原土井病院で頑張っていきたいと思えます。原土井病院は400床を超える入院ベッドを持つ病院ですので、検査や治療などで患者さんの入院が必要な場合はすべて

平成15年に東京大学医科学研究所に出向し、脳梗塞のゲノム研究を開始することになりました。この研究では、九州大学第二内科、久山町研究室、病理学教室や東大農学部等の先生方のご協力を得て、脳梗塞のなりやすさに関係する遺伝子を見つけることができました。平成18年から、神奈川県横浜市にある理化学研究所のグループディレクターに採用され、生活習慣病全般のゲノム研究を担当することになりました。そこでは、日本全国の医療機関の協力を得て、糖尿病、心筋梗塞、気管支喘息、関節リウマチ、がんなど47の病気の患者さんのDNAを集めてゲノム解析を行う「オーダーメイド医療実現化プロジェクト」が動いており、私はそのプロジェクトで集められた約20万人のゲノムDNAを解析し、病気のなりやすさに関係する遺伝子を見つけた研究のリーダーとして研究を行いました。

すでに多くの研究が論文として発表されていますが、簡単にいうと、糖尿病、高血圧、心筋梗塞、がんなど皆さんが知っている病気のほぼすべてに、生まれつき持っている体質が関係していること、病気の体質に

対応できる素晴らしい病院です。患者さんは、常に病気に対する不安を抱えておられ、ちょっとした体調の変化でも気にされているのではないかと思います。私の外来では、そうした色々な不安についてなんでも相談していただき、皆さんと一緒に解決していききたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

プロフィール

出身大学	九州大学（昭和63年卒）
出身医局	九州大学第二内科
専門領域	腎臓病、生活習慣病全般
診療科	内科
外来日	毎週月曜から金曜日まで
経歴	1995年 久山町研究に従事 2003年 東京大学医科学研究所 客員研究員 2006年 理化学研究所・遺伝子多型センター グループディレクター 2011年～2015年 オーダーメイド医療実現化プロジェクトプロジェクトリーダー 2013年 理化学研究所・統合生命医科学研究センター 副センター長 2018年 川崎幸クリニック 常勤医師 2021年 原土井病院 常勤医師
受賞歴	2014年 第44回日本人類遺伝学会・学会賞